

そうべつ議会だよ



壮瞥中学校2年生 布マスク作り

■ 第2回定例会のあらまし	2
■ 一般質問	4
■ 薫風	8

No. 78

■ 2020年8月 ■



壮瞥町議会
ホームページ



壮瞥町議会
YouTube



壮瞥町議会
facebook

発行 / 壮瞥町議会

編集 / 議会広報特別委員会
(TEL 66-2121・FAX 66-7001)

定例会のあらまし

議案審議

新型コロナウイルス感染症防止対策の推進!!

令和2年第2回定例会は、6月11日から12日までの2日間の会期で開催されました。

4名の議員が一般質問を行い、町政を質しました。

農業委員会委員の任命についてのほか、議案17件、報告1件、意見案1件の審議と、選挙1件を行い、それぞれ可決、決定しました。

第3回臨時会

第3回臨時会は、4月30日に開催され、一般会計補正予算についてのほか議案全8件を審議し、それぞれ可決されました。

専決処分の承認（令和元年度壮瞥町一般会計補正予算（第15号）について）
1,958万8千円減額

補正後の予算総額
41億13万7千円

プレミアム付商品券事業補助金
297万8千円減額

質疑
プレミアム付商品券事業の実績について。

答弁
昨年10月の消費税率引き上げに伴い、低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和し、同時に地域内での消費を喚起、下支えることを目的とした国費補助事業で、5千円につき1千円分のプレミアムがつく商品券事業であったが、本町の対象者688人中、商品券の引換率が28.3%という結果であった。全国的には、商品券を使用できる事業所の多い都市部で引換率が高かったが、地方部では20〜30%台という結果であったと承知している。

令和2年度壮瞥町一般会計補正予算（第1号）について
2億9,536万8千円追加
補正後の予算総額
38億6,036万8千円

新規就農支援対策事業
108万円追加

質疑
本事業の具体的内容について。

答弁
本年3月に認定した新規就農者1名について、今年度中、月額8万円の研修費用を貸し付けるとともに、指導農家へ月額1万円の指導金を支払うもの。新規就農者が農業経営者として独り立ちできるよう支援していきたい。

感染症防止緊急対策事業
763万6千円追加

質疑
本事業の具体的内容について。

答弁

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、役場、学校、保育施設等の衛生資材整備523万6千円と、町内医療機関や老人介護施設等への衛生資材等購入補助金240万円を措置するもの。

商工業振興緊急対策事業補助金
2,200万円追加

質疑
本事業の具体的内容について。

答弁

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている町内事業者を対象に、緊急的かつ迅速な感染拡大防止対策及び経済対策を実施するため、町商工会に補助金を交付し、組織力の向上や会員等の事業継続と経営安定を図るもの。

第2回定例会

農業委員会委員の任命について

南 和孝氏、岩倉賢一氏、堀口英男氏、松本敏春氏、清水俊一氏、佐藤慶太氏、岩倉 隆氏、畠山恵美子氏の任命について同意しました。



第2回定例会の様子

令和2年 第2回

質疑
壮警町特定公共賃貸住宅設置及び管理条例及びママと考えた子育て応援住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について

答弁
今回、この条例改正が提案された背景について伺いたい。

質疑
特定公共賃貸住宅及び子育て応援住宅の家賃の減免又は徴収猶予を新たに規定するもので、新型コロナウイルス感染症等、特別な事情により経済的な影響を受けた世帯へ対応できるようにするもの。
なお、新型コロナウイルスの影響による入居者から家賃の減免等の相談等は、現在のところない。

令和2年度壮警町一般会計補正予算(第3号)について

6,945万2千円追加

補正後の予算総額

39億3,447万9千円

蟠溪ミックスタンクポンプ取替工事

190万円追加

質疑

今後の温泉使用料の検討、見直しや、温泉の活用の方について伺いたい。

答弁

温泉は、蟠溪地域にとって大切な資源の一つであり、維持管理経費等の課題もあるが、公共サービスの提供に努めながら、温泉を活用した、より良い方向の検討を継続していきたいと考えている。

道路橋梁維持経費

600万円追加

質疑

答弁

当該林道は砂利道であり、一定年数毎に砂利を補充することが維持管理上重要であり、予算化することが必要と考えるが。

林道駒別線排水整備工事

290万円追加

質疑

状態の悪いところから優先的に不陸整正等の整備を行っているが、限られた予算内での対応となっている。林道の利活用の観点からも必要な予算措置について、今後、検討していきたい。

地域交流センター管理経費

211万円追加

質疑

退職した図書司書の後任の採用について。



壮警小学校分散登校の様子

答弁

読書活動を推進していくためにも図書司書は欠かせないことから適任者の採用に尽力したい。

選挙管理委員及び同補充員の選挙について

本年7月16日で選挙管理委員及び同補充員の任期が満了となるため、本定例会において選挙を実施し、選挙管理委員に千田重光氏、松本 晃氏、畠山政明氏、小山西登氏の4名、同補充員に田中文夫氏、関 義克氏、渡邊幸男氏、富田るみ氏の4名が当選されました。

意見書

・林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
1件の意見書を採択しました。

Q & A

【特別定額給付金事業等の取り組みについて】

Q 特別定額給付金の支給状況は？

A 一日でも早く届くよう役場を挙げて取り組んだ！



佐藤 志

ますが、その対応は。

【教育長】

教育委員会と学校と連携を十分に図り、子供たちの様子をどう把握し、どのように支援していくか十分に協議した。

先生方も非常につらい、

子供たちの顔が見えない、家庭学習は、生活のリズムは乱れていないか等大変な思いをしながら、できる限り家庭との連絡を取りましたが、子供たちが一番大変だったと考える。

特に心配していた心の様子もきめ細かに見ていただき、学習の遅れよりも、まず学校に慣れることからと学校にお願いしている。

Q 避難所運営マニュアルの制定と公表を

A 見直し改定を速やかに

【議員】

地方創生臨時交付金で、今後の避難所運営に必要な備品購入を進めるが、道の避難所マニュアル基本手順書改定に伴い、壮瞥町でも避難所運営マニュアルの制定が必要で、公表すべきと考えるが。

【総務課長】

壮瞥町の避難所のマニュアルは前回の噴火（2000年）後に、避難所マニュアルを含めた、職員の災害対応マニュアルを作成、現在も活用している。近年災害が多く発生し避難所の開設や運営はこのマニュアルに準じて対応している。

今回、道の手順書の改正を踏まえ速やかに見直し改定を行いたい。今回の補正で、避難所のダンボールベットや間仕切りの購入は、道のマニュアルに準じての購入である。マニュアルの公表は、基本的に職員が避難所を開設運営するときの参考資料で、内部資料として特段公表していないが、公表はよぶさかでない。

【議員】

壮瞥町は全道でもいち早く特別定額給付金を支給してきたが、4月27日現在の対象世帯数、申請書提出方法、最新の提出状況は。

【住民福祉課長】

住民登録世帯1,339世帯、5月末の提出は郵送1,003、持参167、オンライン17の1,187世帯。6月11日現在1,274世帯の提出で95.1%である。

【議員】

5月11日の会議で本部長から、申請受付事務は今まで以上に親切丁寧に、申請書類添付のコピーは無料を指示しているが、無料化は町内の実態から起案の段階で考え周知すべきでは。

【町長】

支給については、町民の不安解

消には一日も早く届けることを基本として、副町長の陣頭指揮の下で職場挙げて申請書の発送、支払事務に取り組んできた。全町民が対象となることから本町の高齢化を考慮し、来庁・電話での問い合わせ等に、より親切な対応の徹底を指示した。コピーの取扱は庁内の意見調整を経て、行政機関が行う給付などの申請で必要な場合は、町内の実態（コピーのできる所）を踏まえて無料とした。この周知は時間的余裕がなくしていない。

【議員】

児童生徒は長い休校措置が解かれ学校生活が始まったが、学校生活の中で、友達とのふれ合い、話し合いなど様々な経験を通し、切磋琢磨して成長します。しかし、各種制約や自粛の中での生活に馴染めない子どもへの対応が求められ



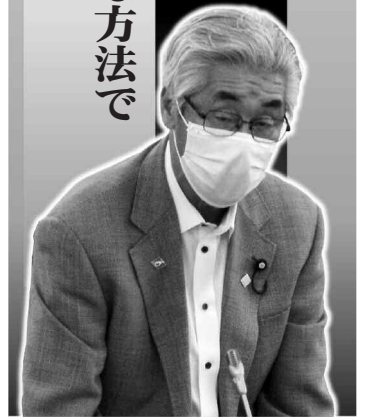
壮瞥高校生による花壇整備

一 般 質 問

【進学・進路のサポートについて】

Q 生徒・保護者への進学・教育費のサポートは？

A サポートについては様々な方法で行っている！



毛利 爾

議員

生徒や保護者への進学相談の対応は。

生涯学習課長

教育相談は小中全員で、学習・生活・進路については担任と面談を行う。保護者に対しては教育相談並びに家庭訪問・個人懇談等、また、随時相談を受けている。

議員

就学支援制度の内容と進学・進路の不安を取り除く取り組みとは。

教育長

就学支援制度として学用品・通学用品・新入学用品・給食費等が支援される。進路に関しては、1つは奨学金制度があり、学校から様々な奨学金について指導している。

議員

教育費に関しては、奨学金や給付型奨学金等もあるが、給付型は基準が厳しく、受けられる世帯は限られている。教育費サポートは。

ックという本がありますが、活用しては。

教育長

高校では、奨学金については時間を割いて説明していると思われる。様々な所から資料が出ていますので、さらに保護者・生徒へ、それらが届くように充実させていきたい。

議員

GIGAスクール構想に関しての取り組みは。

生涯学習課長

児童・生徒一人一人に端末機を揃えるが、インターネットの無い家庭には、貸し出しすることを考えている。基本的には学校内で使う前提だが、休業の時にも使用することもあるので、負担の割合を今後検討したい。また、要保護・準要保護の家庭にはその使用料が入るようなことを厚生労働省で考えているようです。機種については、家庭で利用した場合を考え、ウイルス対策やブロック機能等を備えた機種を検討している。

議員

教員への研修に「セキュリティ向け事故体験ゲーム」というがあるので、参考にしていただきたい。また、目の疲労軽減や理解度が上がるとのデータがあるユニバーサルデザインフォントの利用をしては。

教育長

教員向けセキュリティは内容を、UDフォントは学習指導要領もあるので、併せて精査した上で活用できれば利用したい。



壮瞥小学校少年消防クラブ

【行政改革実施計画の進捗状況について】

Q 生ごみ堆肥の製造と生ごみ回収は？

A 本年度は現行のまま継続する！

議員

第5次行政改革実施計画では、令和元年度を目途に、生ごみ堆肥の製造廃止、生ごみ回収の廃止とあったが、まだ生ごみ回収をしており、町として、どのような考えでいるのか。

町長

循環型社会の形成に向けて、長年町内で取り組んできたことであり、代替施策も含め、慎重な検討を要すること、また、町民の皆様への周知に時間を要すること等から、本年度については、現行のまま継続することとした。

議員

多くの町民の意見を聞くとのことだったが、町民からは、どのような意見があったのか。

町長

町政懇談会等でお聞きした範囲では、せっかく根づいた分別の意識を後退させないでほしい等、分別回収の継続を望む声がある一方、生ごみ



山本 勲

は可燃ごみ袋に入れて捨てているという意見もあった。

議員

生ごみ堆肥の製造や回収の廃止は行わず、この先も、製造・回収を継続することか。

町長

本年度中なるべく早い段階で、将来に向かってどのような方向性を見出したいと考えている。

議員

長年に亘り多くの人が議論を重ねてきたが、これからの時代に何が最重要課題であるかを見極め、循環型社会の形成、環境保全、財政面等を考慮しながら、まずは行ってみることが大事であり、なるべく多くの人達で考えて行動してはどうか。

町長

様々な経緯をもって行政改革に位置づけられたことと認識しており、

行政の継続性に十分留意しつつも、生ごみ回収や循環型社会の形成の取組は、十数年の歴史を持つ本町の先進的な取組の一つでもあり、全世界的な環境負荷軽減の動きの中で、行政コストの果たす意味合いについて、町民の皆さんと共通理解が図れるよう、検討、議論を進めたい。

Q オロフレスキー場の存廃の判断時期は？
A 適切な時期にしっかりと判断をしていく

議員

オロフレスキー場の存廃の判断の時期について伺いたい。

町長

シーズンを通した施設の活用について知恵を出し合い、新たなアウトドア活動の展開による集客など様々な取組を検討している。

本年度からスポーツ庁の補助金を活用し、町内団体やアウトドア専門家、企業等による新たな魅力と産業づくりの検討、協議を通して機運の醸成を図り、新たな視点も取り入れた将来展望、役割等を踏まえ、判断したい。

議員
シーズンを通した活用について様々な団体や組織が知恵を出し合っ

商工観光課長

オロフレリゾートは、多様な地域間交流のための施設であり、幅広い層の意見を拝聴しながら、町民の皆様や事業者等の力をお借りし、検討していきたいと考えている。

議員

オロフレリゾートの存廃の判断の時期について、率直に伺いたい。

町長

本年度中の判断は難しいと考えているが、町民の皆様の期待にこたえられるよう、前向きに検討し、適切な時期にしっかりと判断をしたい。



オロフレスキー場

一 般 質 問

【生ごみ分別収集廃止の判断について】

Q 早急に検討協議を進め
最終判断に繋げるべき！

A なるべく早く実効性のある
方向性を示したい！



松本 勉

の名のもとに従来から地域で根付いていることを廃止することの妥当性について也十分検討、協議して総合的に判断したい。

議員

妥当性を検討、協議することが必要と考えている。

議員

生ごみ分別収集、再資源化は町の文化としても根付いており、継続すべきと考えていたが、当時の説明で、分別収集が発生抑制に直結していない現状や、実施自治体が全国で13%、全道で45%と多くない実態、何より改善待ったなしの町の財政状況を勘案すれば、ごみ減量化の代替施策を実施の上、廃止やむなしとの思いに至ったが、

町長

行政改革計画で廃止と結論付けられているため、行政の継続性を考慮しつつも、広域連合の中間処理施設の経費負担等、新たな経費試算の必要もあり、再検討を要すると考えている。また、行政改革

政コスト削減に貢献しているとの見方もできる。運営面の効率化の問題もあるが、今後も生ごみ堆肥製造を行いながら、良質との評価も高い蓄ふん堆肥の増産、増販は可能かどうか。

副町長

蓄ふん搬入量も目標値に至っていないこともあるが、堆肥センター運営をあらゆる角度から再分析検討した上で、さらに目標値に近づくよう増産、増販に繋げていき、行政コスト削減にも貢献できると考えている。

新型コロナウイルス感染症対策について

議員

町独自の対策を含め、広報誌や防災無線を通した分かりやすい解説、また、町長自ら事業所と連絡を取るなど、これまでの取り組みを評価したい。その上で、今後の取り組み姿勢を伺いたい。

町長

感染拡大前の状況になるには、相当の期間を要すると認識しており、今後も感染状況や地域経済、住民生活の状況を見極め、必要に応じて実効性のある対策を適時、適切に実施したいと思う。



壮瞥中学校体育記録会

『移住者から見た壮瞥町の可能性』

趙 柏凱(チヨウポーカイ)・栗津 美佐子



私たち夫婦はオーストラリアのフルーツ農園で働いていました。滞在ビザのために3か月以上は働かないといけない、という条件のもと働き始めたのが農業との出会いでした。

毎日果物を食べる文化の台湾人の夫と、オーストラリアの果物の需要など

を見て、日本の果物離れを認識しました。そのころから日本で私たちの果物農園を持ち、日本人にも外国の方にも日本の果物に触れてほしいと考え始めました。

私はもともと神戸に住んでおり、北海道には訪れたことがなかったのですが、日本に帰国後、オーストラリアと北海道の気候が似ていることを知り、興味を持ち始めると不思議と北海道の文字を目にすることが増え、導かれるように2年前の春に北海道の壮瞥町にやって来ました。

農家での就農が決まり、役場に問い合わせをして、その日のうちに農業研修シェアハウスに入居することになりました。

手続きや案内、説明事項などが、その日のうちに行なわれ、素早い対応で

感謝とともに驚かされました。館内には家電製品や家具が揃っており、食材などの調達だけをして、次の日から出勤することができました。

就農先などでは、果物や野菜をもらったリ、シェアハウスでは入居者と情報を交換し合ったり、私たちが新規就農希望者ということを知り、応援してくださる方などがいて、壮瞥に来てすぐに壮瞥町ならではの親身な人の温かさを感じました。

今は1年住んだシェアハウスを出て、町営住宅に移ったのですが、移住者の私たちにとって恵まれた環境で移住生活をスタートすることができたとも今でも思います。

壮瞥町は気候が良く有珠山や昭和新山、洞爺湖に囲まれ、くだもの村があり、観光地として、これからもっともっと大きく発展する可能性を持つています。

これから私たちもここで生産者、経営者となる上で、おいしい果物をお届けするのはもちろんのこと、私たち夫婦のスキルである語学力(英語と中国語)も活かしながら、様々な新しい取り組み、SNSを使った集客方法、消費者のニーズと自身のやりたいことが交わる点の3つを追求していきたいと考えています。

少しでも地域に貢献できるよう、微力ながら尽力させていただきますので、今後ともよろしく願っています。

編集後記

年初めから全世界で新型コロナウイルスが流行。政府が全国に緊急事態宣言を発令、北海道も「特定警戒都道府県」に指定され、今まで誰も経験したことのない事が起こりました。その後、緊急事態宣言が解除になり「コロナに負けるな!」と声を上げ皆が頑張っています。

しかし、少し視点を変えると、このコロナウイルス、新しい時代の始まりのように感じます。単純に時代の変化であって、なるべく早い段階でその時代に対応する方法や行動をしなければならぬと感じます。

コロナに負けるなというよりは、これからの生活や仕事の中にコロナを取り込んでいく、上手に付き合っていく、という考えの方が良いのかもしれない。

何億年も前、生命が生まれてから今まで、様々な変化に対応し、進化してきた人間、私たちは今の時代を生きています。次の時代の人たちに繋げるためにもコロナありきの新時代を皆さんで柔軟に変化、進化していければと思っています。

(T.Y.)